

1) 対象事業の名称等			
対象事業の名称	事業分野	事業総額	事業実施期間
販わい創出による創業マインドの育成計画	企業誘致・起業支援	431,667 千円	平成 29 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日（3 ヶ年度） ⇒令和 7 年 3 月 31 日へ延長
令和 6 年度事業費	令和 6 年度寄附総額		担当部署
59,066 千円	5,150 千円		地域振興課 生涯学習課

野々市市創生総合戦略推進会議の事業の評価		第 2 期ののいち創生総合戦略の位置付け
☐ 第 2 期ののいち創生総合戦略の K P I 達成に有効であった	☐ 第 2 期ののいち創生総合戦略の K P I 達成に有効とは言えない	基本戦略 1 しごとを創る～野々市らしい産業の創出～ 施策 1-1 次代を担う産業の創出
		基本戦略 3 魅力的なまちを創る ～地域・広域連携によるまちづくり～ 施策 3-3 ふるさとづくりの推進

2) 対象事業の概要
本市は、図書館と市民学習センターを併設した「学びの杜ののいち カレード」を P F I の手法で整備しており、出会いと交流から販わいを創出する市民活動拠点として活用している。カレードにおいては、創業に関する蔵書の配置や相談会、講座の開催など、市内における創業希望者から創業後間もない方を総合的に支援することで、市内外の集客を見込む。また、図書館の開館時間の拡大や広域の図書館との連携により、市内外の方を呼び込む。創業支援を中心に、市内外から人を呼び込み、人の魅力を広く伝え、しごとづくり、移住・定住につなげることをめざす。

3) 令和6年度の実施内容	
○図書の調達冊数 12,597 冊 (ビジネス支援図書、地域の課題解決に役立つ図書、児童図書、読み聞かせボランティアに役立つ図書等) ○地域の課題解決に役立つ情報を提供する取組み ・市民歴史講座 5回開催 参加者 86人 ・図書ボランティアの交流会 1回開催 参加者 23人 ○子どもの読書推進につながる取組み ・おはなし会 95回 参加者 2,077人 ・全国高等学校ビブリオバトル 2024 石川県大会 ○創業支援事業 ・創業塾 2回開催(3週連続講座) 参加者 27人 修了者数 24人 ・創業セミナー 1回開催 参加者 19人	 高校生のビブリオバトル  ボランティア向けの大型絵本  創業セミナー

4) 対象事業の重要業績評価指標（K P I）と実績値						
〔達成率＝R6 実績値÷R6 目標値×100〕						
K P I ①	創業知識習得講座参加人数（年度内合計）					
	事業開始前(H28) ⇒ 各年	R 3 実績値	R 4 実績値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 6 達成率
	17 人 ⇒ 25 人	13 人 (目標値：25 人)	27 人 (目標値：25 人)	44 人 (目標値：25 人)	46 人 (目標値：25 人)	184%
K P I ②	講座参加者のうち創業した人数（年度内合計）					
	事業開始前(H28) ⇒ 各年	R 3 実績値	R 4 実績値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 6 達成率
	0 人 ⇒ 5 人	6 人 (目標値：5 人)	3 人 (目標値：5 人)	5 人 (目標値：5 人)	3 人 (目標値：5 人)	60%
K P I ③	市立図書館利用者数（年度内合計）					
	事業開始前(H28) ⇒ 令和 6 年度	R 3 実績値	R 4 実績値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 6 達成率
	60,000 人 ⇒ 500,000 人	299,925 人 (目標値：487,000 人)	305,982 人 (目標値：492,000 人)	329,773 人 (目標値：497,000 人)	334,881 人 (目標値：500,000 人)	67.0%
K P I ④	市外利用登録者数（年度末時点）					
	事業開始前(H28) ⇒ 令和 6 年度	R 3 実績値	R 4 実績値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 6 達成率
	2,200 人 ⇒ 12,000 人	8,455 人 (目標値：11,700 人)	9,336 人 (目標値：11,900 人)	8,692 人 (目標値：12,000 人)	8,462 人 (目標値：12,000 人)	70.5%
事業の効果						
☐ 地方創生に非常に効果的であった	☒ 地方創生に相当程度効果があつた	☐ 地方創生に効果があつた	☐ 地方創生に効果がなかった			

5) 実績値を踏まえた今後の方針	
☐ 追加等更に発展させる	(理 由)
☐ 事業内容の見直し(改善)	「学びの杜ののいちカレード」との連携により、創業支援事業の効果をより高める図書館資料を充実させ、相乗効果を図る。創業塾や創業セミナーを開催することで、創業について考えるきっかけや創業に必要な知識を学ぶ場を提供し、創業の実現につなげるとともに、同じ志を持った仲間づくり・ネットワークづくりにもつなげる。当市の次代を担う創業者の掘り起こしや育成に取り組んでいくためにも、事業を継続する。
☒ 事業の継続	
☐ 事業の継続の中止	
☐ 予定通り事業を終了	

1) 対象事業の名称等		
対象事業の名称	事業実施期間	
野々市市まち・ひと・しごと創生推進計画	令和4年7月8日から令和7年3月31日（3ヶ年度）	
令和6年度事業費	令和6年度寄附総額	担当部署
5,423 千円	950 千円	企画財政課 市民生活課 地域振興課 生涯学習課

野々市市創生総合戦略推進会議の事業の評価		ののいちデジタル田園都市構想総合戦略の位置付け
☐ ののいちデジタル田園都市構想総合戦略のK P I 達成に有効であった	☐ ののいちデジタル田園都市構想総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	基本戦略1 しごとを創る ～野々市らしい産業の創出～ 基本戦略2 ひとの流れを創る ～安心して暮らせる環境づくり～ 基本戦略3 魅力的なまちを創る ～地域・広域連携によるまちづくり～

2) 対象事業
ののいちデジタル田園都市構想総合戦略に掲げる施策に基づく全ての事業

3) 令和6年度の実施内容
○SDG s 未来都市推進事業（魅力的なまちを創る事業） 【SDG s ワークショップの開催】 持続可能な社会の実現やまちづくり参画促進に向けた知識や技術の習得を促す「SDG s ワークショップ」を開催。環境意識向上のための木工、太陽光、コンポストの理解促進や、ゲームの要素を取り入れた教材を用いて地域課題解決を考える講座など、多様なテーマにより実施。また、企業を対象としたSDG s ビジネスを促す研修なども開催し、市民や企業の意識向上及び市への愛着心の醸成を図った。 【普及啓発】 ののいちマナビィフェスタやののいち椿まつりなど、各種イベント会場において、SDGs ゲーム体験ブースを設置したほか、歩きたくなるまちの実現や、自分で取り組む「SDGs アクション」などをメッセージツリーに貼る啓発活動なども実施。 SDGs に貢献する製品・サービスの紹介や、学びの杜ののいちカレードに設置したCNC ルーター（木工用のデジタル切削機器）の活用動画の発信を行うなど、さまざまな機会を活用し、市民の普及啓発・情報発信に取り組んだ。 【オープンバッジ制度】 各種ワークショップで得た知識や技術をデジタルで証明する「オープンバッジ制度」を実施し、参加者バッジや、講師には「企画・監督者バッジ」等を交付。これにより、参加への興味や継続的な参加意欲の促進を図った。 【子ども若者議会の開催】 若者の意見の社会実装を目指し、小学生から大学生までが参加する「子ども若者議会」を開催し、「脱炭素・循環型社会」や「歩きたくなるまち」の実現に向けた検討・協議を行った。 議論を通じてまとめた意見は、提言書として市議会に提出した。



コンポストワークショップ



メッセージツリー

4) 対象事業の重要業績評価指標（K P I）と実績値
資料2の基本戦略1～3・横断的な戦略のK P I のとおり

事業の効果			
☐ 地方創生に非常に効果的であった	☒ 地方創生に相当程度効果があった	☐ 地方創生に効果があった	☐ 地方創生に効果がなかった

5) 実績値を踏まえた今後の方針	
☐ 追加等更に発展させる ☐ 事業内容の見直し（改善） ☒ 事業の継続 ☐ 事業の継続の中止 ☐ 予定通り事業を終了	（理 由） 「第3期のののいち創生総合戦略」に基づき、企業版ふるさと納税の活用を図るとともに、地域の強みを活かした産業育成や定住促進に向けた環境整備、都市の利便性の向上などの施策を推進し、「選ばれるまち・暮らし続けたいまち」の実現を目指す。

1) 対象事業の名称等			
対象事業の名称	事業分野	事業総額(令和6年度事業費)	事業実施期間
小中高大連携による持続可能なインパクトシティののいち創生事業	まちづくり	16,400 千円(6,116 千円)	令和5年8月17日から令和8年3月31日

野々市市創生総合戦略推進会議の事業の評価

☐ ののいちデジタル田園都市構想総合戦略のKPI達成に有効であった	☐ ののいちデジタル田園都市構想総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
ののいちデジタル田園都市構想総合戦略の位置付け	
基本戦略3 魅力的なまちを創る ～地域・広域連携によるまちづくり～ 施策3-3 ふるさとづくりの推進	
横断的な戦略 新しい時代の流れを力にする 施策2 SDGsの推進	

2) 対象事業の概要
2023年度SDGs未来都市に選定された提案書に基づき、2050年までの脱炭素社会・循環型社会・ウェルビーイング社会・自然との共存共創社会の実現を見据えつつ、本市の魅力の向上や新たな産業の創出、そして、環境意識の更なる向上を図りながら若者の定住を促進するために、経済・社会・環境の三側面を重視した事業に取り組む。 本事業とSDGs未来都市の提案書に基づく事業を市内の小学校・中学校・高校・大学と連携し、若者が自分事として環境をはじめとした地域課題を解決する力を身につけることをより効果的に支援しながら、将来像の実現に向けて取り組みを進める。

3) 令和6年度の実施内容
●SDGs未来都市の推進に向けた各種ワークショップの開催 〔市民向けSDGsワークショップ〕持続可能な社会やまちづくり参画を促進するため、木工や太陽光、プロギングなど多様なテーマのSDGsワークショップ等を開催し、市民の環境意識と市への愛着心を高めた。(参加者数 933名) 〔企業・団体向けSDGs研修事業〕野々市市内でSDGsの取り組みや新規事業を促す支援として、ゲーム教材を活用した企業・団体向けSDGs研修や、複数の企業や大学生による交流会を開催した。(参加者数 163名) ●市と市民団体の協働による地域課題解決事業（SDGs未来都市協働事業） 市と協働により地域課題を解決する事業を提案した市民団体に対し補助金を交付。 - 心豊かな自然体験事業（休耕地を有効活用した農業体験などを実施） - 林口川沿い遊歩道花壇と周辺の歩きたくなる環境に向けた市民参加による活動 - グリーンカーテン普及事業、歩きたくなるまち（ウォーカブルシティ）実現に向けた普及啓発事業



ののいちプロギング

4) 対象事業の重要業績評価指標（K P I）と実績値						
〔達成率＝R6 実績値÷R6 目標値×100〕						
K P I ①	市内大学卒業生の県内就職率					
	事業開始前 ⇒ 令和7年度	R 5 目標値	R 6 目標値	R 7 目標値	R 6 実績値	R 6 達成率
	19%⇒ 22%	19.5% (+0.5%)	20.5% (+1.0%)	22% (+1.5%)	22.7% (+3.2%)	111%
K P I ②	提案型 SDGs 協働事業の実施数					
	事業開始前 ⇒令和7年度	R 5 目標値	R 6 目標値	R 7 目標値	R 6 実績値	R 6 達成率
	0 事業⇒10 事業（累計）	(R 6 年度に 事業実施)	3 事業	7 事業	4 事業	133%
K P I ③	地域の拠点を活用したリスキリングワークショップの参加者数					
	事業開始前 ⇒令和7年度	R 5 目標値	R 6 目標値	R 7 目標値	R 6 実績値	R 6 達成率
	0 人 ⇒ 160 人（累計）	30 人	80 人(累計)	160 人(累計)	974 人（累計）	1,218%
K P I ④	市民・企業向け環境ワークショップの参加者数					
	事業開始前 ⇒令和7年度	R 5 目標値	R 6 目標値	R 7 目標値	R 6 実績値	R 6 達成率
	0 人 ⇒ 300 人（累計）	50 人	150 人(累計)	300 人(累計)	1,052 人（累計）	701%
事 業 の 効 果						
■	地方創生に非常に効果的であった	□ 地方創生に相当程度効果があった	□ 地方創生に効果があった		□ 地方創生に効果がなかった	

5) 実績値を踏まえた今後の方針	
☒ 追加等更に発展させる	(理 由)
☐ 事業内容の見直し(改善)	持続可能なまちづくりに向けて、市民や企業の参画のさらなる促進を図るとともに、市民の定住促進や若者を含む多様な世代の活躍による市への愛着心の向上を目的として、市内の大学や企業、関係機関とも連携し、「SDGs未来都市ののいち」の取組を引き続き推進し、そのさらなる発展に向けて取り組む。
☐ 事業の継続	
☐ 事業の継続の中止	
☐ 予定通り事業を終了	